

政策番号	16	政策分野	高齢者福祉
------	----	------	-------

基本方針	いわゆる「団塊の世代」が高齢期を迎え、今後、介護給付費をはじめとした財政需要の増大が想定されるなか、高齢者自身が就労や社会参加を通じた生きがいがいづくり、健康づくりを進めることにより、活力あるまちづくりを推進する。また、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、介護・医療施設等の整備に取り組むとともに、地域住民参加型の見守りネットワークを構築し、地域全体で高齢者を支えるしくみづくりを推進する。
------	---

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン
---------------------	---------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価	23年度 評価値	32年度 目標値	28 年度	29 年度	30年度評価				
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 認知症サポーター養成者数(人)	28,920	144,000	a	a	91,287	104,392	80,000	130.5%	a
2 施設・居住系介護保険サービス定員数(人分)	11,981	18,151	a	a	16,239	16,807	17,104	98.3%	a
3 地域包括支援センター相談件数(件)	239,203	-	b	b	264,917	281,315	278,163	101.1%	a
			a	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	28年度	29年度	30年度
1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築(2指標)	a	b	a
1602	活力ある長寿社会の実現(4指標)	b	c	b
1603	高齢者を支えるネットワークの推進(2指標)	a	b	a
1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現(2指標)	a	a	a
1605	魅力ある介護現場の実現(1指標)	c	a	e
(5施策平均)		a	a	b

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価=1:0.5)	28年度	29年度	30年度
	a	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		28年度	29年度	30年度
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実した暮らしを送れている。	c	c	c
2	高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。	c	c	c
3	高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してらせるまちになっている。	c	c	c
4	介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしい暮らしを送れている。	c	c	c
5	高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。	a	a	a
政策の市民生活実感調査総合評価		b	b	b

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

28年度		29年度		30年度	
順位	%	順位	%	順位	%
13	80.6%	14	82.8%	14	83.6%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標総合評価】 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。		29年度	B
【市民生活実感調査総合評価】 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。			
【総括】 ・市民の実感については、介護職の重要性以外は「どちらとも言えない」との回答が多数であり、実感の向上に向けて引き続き取り組む必要があるが、高齢者を支える人材育成や基盤整備は一定進捗しており、政策の目的はかなり達成されている。		28年度	B

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		28	29	30
1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築	B	B	B
1602	活力ある長寿社会の実現	B	C	B
1603	高齢者を支えるネットワークの推進	B	B	B
1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現	B	B	B
1605	魅力ある介護現場の実現	B	A	C

<今後の方向性>

①高齢者の尊厳を保つ社会の構築

・今後とも成年後見制度の普及・啓発に取り組むとともに、関係機関・団体と連携しながら、申立支援や市民後見人の養成、法人後見に対する支援など、権利擁護対策を積極的に推進し、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる社会の実現に向け、取り組んでいく。

②活力ある長寿社会の実現

・シルバー人材センターについては、入会説明会を適宜開催することにより、事業内容や会員の役割等を高齢者へ周知し、入会していただくよう取り組むことで、引き続き会員数の増加に努める。
 ・老人福祉センターについては、既存の事業に加え、高齢者支え合い活動入門講座の開催等を通じて、更なる利用者数の増加と交流機会の拡大を図る。
 ・介護予防事業については、平成29年度から制度が変更になり、これまでの二次予防事業が廃止されたことから、京都市民長寿すこやかプランに掲げる新たな指標設定を行った。今後は、それらの取組を通して介護予防の充実に向けていく。
 ・高齢者の居場所づくりについては、「健康長寿サロン」事業の周知等により、京都市民長寿すこやかプランに定められた目標値を達成できるよう取り組む。
 ・高齢者の知恵や経験、技能を社会に活かすため、より幅広い分野での活用機会の拡大を図る。

③高齢者を支えるネットワークの推進

・高齢化率の上昇や単身世帯の増加を踏まえて、高齢者が地域において安心していつまでも生活できるよう、老人福祉員活動の推進や地域包括支援センターの機能の充実及び運営の質の維持・向上、地域の様々な社会資源の連携により、今後とも高齢者を支えるネットワークを推進していくとともに、これらの取組に対する認知や理解の広がるよう取り組む。

④介護サービスの充実による豊かな生活の実現

・引き続き、長寿すこやかプランに定められた整備目標の達成に向けて、介護を必要とする状況になっても住み慣れた地域で生活し続けることができるよう、地域密着型サービスの推進など、介護サービス基盤の整備に取り組むとともに、一層の周知を図る。

⑤魅力ある介護現場の実現

・今後とも多くの福祉関係従事者や市民の方に福祉に関する知識や技術を高めるとともに、介護職場の魅力が向上するよう、京・福祉の研修情報ネットに掲載する研修・講座数の充実を図り、介護職員等のスキル向上に向けた支援を行う。
 ・主催者団体の増ならびに見やすく使いやすいHPに向けて、検討を重ねていく。

政策名	16	高齢者福祉	
指標名	認知症サポーター養成者数（人）		
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室	連絡先 746-7734	
1 指標の説明			
認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法等を学んだサポーターの養成者数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
高齢者の尊厳が保たれる社会の構築に向けた進捗状況を示す指標		算出方法：当該年度末時点の養成者数 出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 28,920	平成32年度目標値 144,000	根拠 第7期京都市民長寿すこやかプラン
	前回数値 28年度 91,287	最新数値 29年度 104,392	推移 13,105人増
数値	91,287	104,392	13,105人増
	単年度目標値		達成度
	数値		根拠
数値	80,000		「平成32年度末の目標である14万4千人」の達成のために、当該年度達成すべき数値
	達成度		130.5%
	全国順位	中長期目標	
	数値	目標年次	達成度
数値	144,000	32年度	72.5%
	根拠		第7期京都市民長寿すこやかプラン
	備考		
5 評価基準		6 基準説明	
単年度目標に対する達成率が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満		認知症に関する知識は、市民に周知されることが望ましいことから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。	
7 評価結果		28	29
		a	a
		a	a

指標名	施設・居住系介護保険サービス定員数（人分）		
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室	連絡先 213-5871	
1 指標の説明			
介護保険施設及び介護専用居住系サービスの定員数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
介護サービスの充実度を示す指標		算出方法：当該年度末時点の介護保険施設等の実定員数から前年度末時点の実定員数を差し引いて算出 出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 11,981	平成32年度目標値 18,151	根拠 第7期京都市民長寿すこやかプラン
	前回数値 28年度 16,239	最新数値 29年度 16,807	推移 568人分増
数値	16,239	16,807	568人分増
	単年度目標値		達成度
	数値		根拠
数値	17,104		平成32年度末までに目標を達成するために当該年度達成すべき数値
	達成度		98.3%
	全国順位	中長期目標	
	数値	目標年次	達成度
数値	18,151	32年度	92.6%
	根拠		第7期京都市民長寿すこやかプラン
	備考		
5 評価基準		6 基準説明	
最新数値が、目標値に対して、 a：90%以上 b：80%以上～90%未満 c：70%以上～80%未満 d：60%以上～70%未満 e：60%未満		当該指標については、民間事業者による整備促進を図るものである困難性に鑑み、90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。	
7 評価結果		28	29
		a	a
		a	a

政策名	16	高齢者福祉
-----	----	-------

指標名	地域包括支援センター相談件数（件）
-----	-------------------

担当部室	健康長寿のまち・京都推進室	連絡先	746-7734
------	---------------	-----	----------

1 指標の説明

地域包括支援センターへの年間相談延べ件数

2 指標の意味

地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度） 目標値	平成23年度評価値 239,203	平成32年度目標値 -	根拠 -
----------------------	----------------------	----------------	---------

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	264,917	281,315	16,398件増	278,163	前年度実績の5%増の数値	101.1%

	全国順位	中長期目標		
		数値	目標年次	達成度
数値				根拠

備考	
----	--

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

積極的な対象者の発見を重視し、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

28	29	30
b	b	a